

2025年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年7月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社チームスピリット

コード番号 4397 URL <https://corp.teamspirit.com/ja-jp/>

代表者 （役職名）代表取締役CEO （氏名）道下 和良

問合せ先責任者 （役職名）執行役員CFO （氏名）高橋 亮

TEL 03-4577-7510

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有

（百万円未満切捨て）

1. 2025年8月期第3四半期の連結業績（2024年9月1日～2025年5月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年8月期第3四半期	3,556	8.4	268	—	272	—	225	—
2024年8月期第3四半期	3,279	16.5	△32	—	△36	—	△34	—

（注）包括利益 2025年8月期第3四半期 227百万円（－％） 2024年8月期第3四半期 △28百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年8月期第3四半期	13.70	13.70
2024年8月期第3四半期	△2.12	—

（注）2024年8月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年8月期第3四半期	4,063	1,483	36.3
2024年8月期	3,692	1,229	33.3

（参考）自己資本 2025年8月期第3四半期 1,477百万円 2024年8月期 1,229百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年8月期	—	0.00	—		
2025年8月期（予想）				0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年8月期の連結業績予想（2024年9月1日～2025年8月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	5,000	13.1	260	—	270	—	220	—	13.34

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規 1社 (社名) ワークライフログ株式会社、除外 1社 (社名) ワークライフログ株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ：有 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ：無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ：無 |
| ④ 修正再表示 | ：無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年8月期3Q	16,509,500 株	2024年8月期	16,451,600 株
② 期末自己株式数	2025年8月期3Q	14,915 株	2024年8月期	8,915 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年8月期3Q	16,469,074 株	2024年8月期3Q	16,420,396 株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「すべての人を、創造する人に。」のミッションのもと、勤怠管理、工数管理、経費精算、電子稟議等の社内業務システムのクラウドサービス「TeamSpirit」(注1) シリーズやAI議事録ソリューション「Synclog」等を提供しております。

当社グループが提供するサービス領域における短期的な事業環境といたしましては、フルリモートワークやハイブリッドワーク等の多様な働き方への対応が求められるようになったことで、高度な「勤怠管理」への需要は継続的に高い関心を集めております。また、最近では、労働時間の正確な把握だけでなく、仕事の見える化によるチームの活性化や非対面でのマネジメントの最適化を可能にする「工数管理」への需要も高まっています。

中長期的な事業環境といたしましては、人的資本経営に対する関心の高まりを背景に、多様で生産性の高い働き方の実現や、従業員エンゲージメントの向上に注力する企業が増加することが予想されます。また、特にエンタープライズ企業(注2)では、2000年頃に一斉導入されたERP並びに、それに付随したデータのエントリー機能を担う「勤怠管理システム」や「経費精算システム」といったERPのフロントウェアシステムのリプレイス需要が高まっています。従来、エンタープライズ企業では、これらのシステムは各社独自の仕様で構築されるケースが一般的でしたが、昨今は更新投資やシステム保守費をかけることなく最先端のサービスを利用することができるSaaS(注3)への関心が高まっています。

このような事業環境の下で、当社グループは中期戦略として①エンタープライズセグメントでの成長加速、②ミッド・スモールセグメントでの成長維持、③新規領域の創出、の3点を基本戦略として取り組んでおります。また、2025年8月期においても、ARR成長を最優先としながらも、収益性の改善に向けて経営効率を高めるための施策に注力しております。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりです。

ライセンス受注状況に関して、当第3四半期連結会計期間における契約ライセンス数の純増は、エンタープライズ企業の複数の受注獲得が成長を牽引し39,302ライセンス(第3四半期連結累計期間の純増数は71,487ライセンス)となり、累計の契約ライセンス数は617,006ライセンス(前年同期比18.6%増)となりました。ARR(注4)は4,207百万円(同12.9%増)となりました。また、当第3四半期連結累計期間における契約社数の増加は161社となり、累計で2,128社となりました。

当第3四半期連結累計期間における売上高は合計で3,556百万円(前年同期比8.4%増)と概ね計画通りの進捗となりました。売上高の内訳は、ライセンス売上高2,957百万円(同11.7%増)、プロフェッショナルサービス売上高598百万円(同5.2%減)となりました。営業利益は、増収による粗利改善、費用対効果見直しによる広告宣伝費の抑制等により268百万円(前年同期は営業損失32百万円)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、225百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失34百万円)となりました。

なお、当社グループはSaaS事業の単一事業であるため、事業セグメント別の記載を省略しております。

(注1) チームスピリット:大企業向けの「TeamSpirit Enterprise」及び、幅広い企業規模で利用可能な「TeamSpirit」の2つの製品で構成。

(注2) 企業規模毎の定義は以下のとおり。

名称	定義
エンタープライズ企業	従業員が1,000名以上の企業
ミッド企業	従業員が200～999名の企業
スモール企業	従業員が199名以下の企業

(注3) SaaS:Software as a Serviceの略称で、サービスとしてのソフトウェアを指す。クラウドサーバーにあるソフトウェアを、インターネットを経由して利用できるサービス。

(注4) ARR:Annual Recurring Revenueの略で、集計基準日時点の当社製品のライセンス収入から得られる月間収益の合計を12倍したもの。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は4,063百万円となり、前連結会計年度末から370百万円増加しました。

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は3,429百万円となり、前連結会計年度末から305百万円増加しました。これは主に、現金及び預金の増加によるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は634百万円となり、前連結会計年度末から64百万円増加しました。これは主に、ワークライフログ株式会社の吸収合併に伴うのれんの計上によるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は2,580百万円となり、前連結会計年度末から116百万円増加しました。これは主に、繰延収益の増加によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債はありません。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は1,483百万円となり、前連結会計年度末から254百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことによる利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年8月期第3四半期決算(2024年9月1日～2025年5月31日)の業績は、堅調な受注を受けて連結売上高が概ね想定通りに伸長する一方、様々な経営効率化施策の効果が発現したことで、利益は着実に黒字転換を果たし、いずれもすでに期初の業績予想数値を超過達成しています。

こうした状況下、第4四半期では、役員及び従業員に対する業績連動賞与や従業員の下半期インセンティブ賞与、株主優待引当金の計上に加えて、翌期以降の成長に向けた戦略投資を確実に実行していく方針です。

このような状況を受けて、利益に係る業績予想数値を上方修正します。

詳細につきましては、本日発表の「2025年8月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,543,387	2,831,889
売掛金及び契約資産	46,698	74,826
前渡金	359,734	398,914
その他	174,666	124,251
貸倒引当金	△972	△432
流動資産合計	3,123,514	3,429,449
固定資産		
有形固定資産	11,364	9,391
無形固定資産		
のれん	—	42,288
その他	—	6,857
無形固定資産合計	—	49,146
投資その他の資産		
繰延税金資産	502,627	527,209
その他	55,465	48,688
投資その他の資産合計	558,093	575,898
固定資産合計	569,458	634,436
資産合計	3,692,973	4,063,885
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,075	12,224
未払法人税等	18,803	74,535
繰延収益	1,764,085	2,039,091
賞与引当金	64,170	23,739
事業再編費用引当金	111,525	—
その他	496,273	430,977
流動負債合計	2,463,933	2,580,568
負債合計	2,463,933	2,580,568
純資産の部		
株主資本		
資本金	840,824	850,812
資本剰余金	830,824	840,812
利益剰余金	△461,214	△235,165
自己株式	△509	△509
株主資本合計	1,209,925	1,455,950
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	19,113	21,243
その他の包括利益累計額合計	19,113	21,243
新株予約権	—	6,122
純資産合計	1,229,039	1,483,317
負債純資産合計	3,692,973	4,063,885

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)
売上高	3,279,173	3,556,177
売上原価	2,033,986	2,106,021
売上総利益	1,245,186	1,450,155
販売費及び一般管理費	1,278,085	1,182,069
営業利益又は営業損失(△)	△32,899	268,085
営業外収益		
受取利息	—	1,167
補助金収入	455	—
事業再編費用引当金戻入益	—	3,813
その他	545	3,113
営業外収益合計	1,001	8,094
営業外費用		
支払利息	—	230
為替差損	3,745	1,217
株式交付費	628	1,582
その他	59	156
営業外費用合計	4,434	3,187
経常利益又は経常損失(△)	△36,332	272,992
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△36,332	272,992
法人税、住民税及び事業税	1,897	71,993
法人税等調整額	△3,338	△24,582
法人税等合計	△1,440	47,411
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△34,891	225,580
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△34,891	225,580

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△34,891	225,580
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	6,601	2,129
その他の包括利益合計	6,601	2,129
四半期包括利益	△28,290	227,710
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△28,290	227,710

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)

当社グループは、SaaS事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)

当社グループは、SaaS事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、譲渡制限付株式報酬としての新株発行により、資本金及び資本剰余金それぞれ9,987千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が850,812千円、資本剰余金が840,812千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)
減価償却費	3,517千円	3,604千円
のれん償却額	一千円	2,225千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。